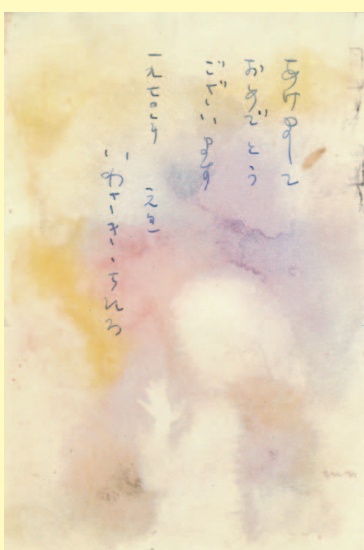
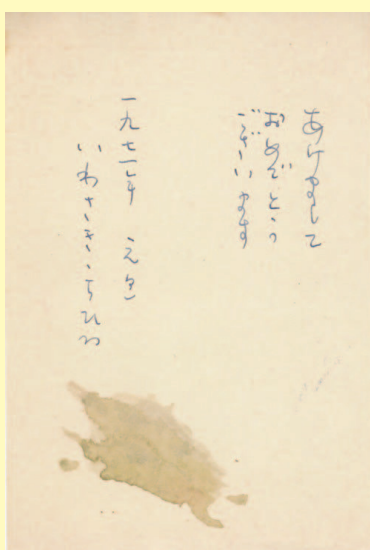


→堀文子



→いわさきまぢひろ



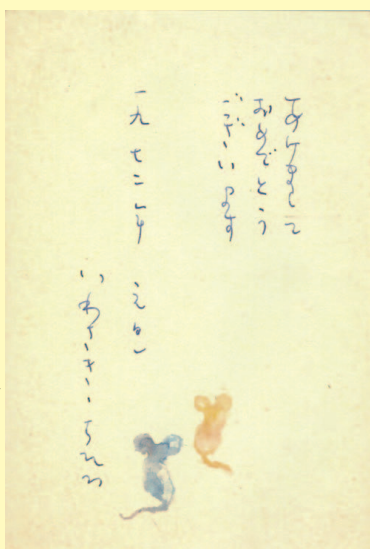
→いわさきまぢひろ



→いわさきまぢひろ



→いわさきまぢひろ



→いわさきまぢひろ

には残っていないという現実だった。何でも熱心なファンがいて、原画をどんどん購入してくれたそうで、先生も原画に執着がないままに気軽に手放してしまっただけ。今はそのコレクターとも連絡がとれなくなっているという。傍らの奥様が「少しは良い作品を残しておいてくれればよかったのに……」ともらしていた。

現在九十歳を超えて、日本画家として健筆をふるっている堀文子先生からの年賀状である。

当時出版された『こどものとも』の作品で私は大ファンとなった。モダンでフレッシュで、私は感激してファンレターとして年賀状を出し、思いがけず御返事をいただいた。大事にしている一枚である。

名古屋でイラスト工房を営んでいた長岡美好さん(後出)から、「**いわさきまぢひろ**さんに仕事を依頼したいので紹介してほしい」という電話が入った。長岡氏と私は、小松崎一門の兄弟弟子である。地方(名古屋の皆様ゴメンナサイ)の長岡氏からは、よくそんな電話が入り、成瀬一富先生、若菜珪先生、太田じろう先生等色々紹介した。しかし、いわさき先生とはスケ